

九条北小学校 校長室だより

N0.24 令和5年9月11日



9月は、別名「長月（ながつき）」とも言われ、夏と秋の境目となる季節です。これから季節は、次第に秋に向かっていくようですが、実際には、いましばらくの間、暑い日が続きそうです。熱中症にも気をつけながら過ごさせたいと思います。

★西中学校「部活動見学」～6年生が西中学校へ行ってきました！★

8月31日（木）、西中学校の「部活動見学会」がありました。6年生が西中学校に到着すると、まずは花道で歓迎してくれました。武道場での話の後、九条北小学校の卒業生でもある生徒会のメンバーの案内で部活動を見学させていただきました。6年生は、中学生の迫力ある練習の様子や完成度の高い作品に感心していました。見学した部活動は、「バスケットボール部・バレー部・家庭科部・卓球部・美術部・華道部・茶道部・パソコン部・科学部・英語同好会・吹奏楽部・サッカーチーム・野球部・陸上部」です。生徒会執行部の紹介もしてくれました。



★「室戸台風」の経験から～台風の備えを！★

*今日の児童朝会では、次のようなお話をしました。

先日、4年生が社会の学習で「室戸台風」について学習していました。「室戸台風」は、昭和の三大台風の1つと言われています。

「室戸台風」は、高知県室戸岬西方に上陸後、淡路島付近を通過し、阪神間に再上陸。京都付近を経て若狭湾に出ました。当時は、木造建築も多く、大阪でも、たくさんの建物が強風によって壊れる被害が大きかったそうです。また、大阪湾周辺には海水の流入が発生し、地盤沈下も生じ、その結果、大阪城付近まで水が及んだとされています。亡くなったり、負傷したり、あるいは行方不明になった人もたくさんいたようです。

当時の大きな被害は、とても強い台風であったことが主な原因ですが、今と比較すると防災体制が、とても弱かったことも、被害が大きくなった原因と考えられました。当時は「防災警報がどの程度危険な状態であるか」正しく理解されていなかったようで、台風発生時に、たいてい警戒せずいつも通りの台風と楽観していたため、被害にあったケースが多かったようです。この反省を踏まえ、警報の前段階に中央気象台より「気象特報」が発表されるようになりました。また、当時から比較すると、建物の強度も考えられるようになっています。さらに、河川の防波堤も改善されました。大阪では、河川が多いことから、河口近くに防潮水門をつくり高潮を、そこで止める対策をとっています。

それでも、予想を超える災害はやってくる可能性があります。5年前の台風では、関西空港が水没するという被害を受けました。**9月は台風の多い時期です。最近でも、日本付近で複数の台風が発生し、天候にも影響しています。防災情報に気をつけ、いざというときに、慌てず行動できるようにしましょう。**

さて、最後に、今週は、「健康強調週間」です。1週間の目標を決めてくれたと思います。目標達成に向けてがんばってください。